

子どもたちのココロに一生響く、ホンモノの体験を。

そして、子どもたちに冒険・チャレンジを！

ボルネオ島 キャンプ

2019年

3/25-31

MON

SUN



マレーシア

3泊

ホームステイ体験

リアル・ジャングルクルーズへ！

自然環境保護活動に参加



添乗員

NPO 法人国際自然大学校
事業部 / 本校 国際事業マネージャー
館野 彩子 (まるこ)

[海外キャンプ担当実績]
2012年度・春 内モンゴルキャンプ
2014～2016年度・春 ボルネオ島キャンプ
2017年度・夏 オーストラリアキャンプ
2018年度・夏 ニュージーランドキャンプ

私の紹介したいボルネオは人、暮らし、そして自然の3つ。

[人] ホームステイでお邪魔するパバル村の人々はとても明るく親切。いつでも訪れると、「よく来たねー！」と甘いおやつと温かな笑顔で迎えてくれます。

[暮らし] 日本の暮らしと比べると虫がいたり、水シャワーだったり、少々不便ですが、そんな体験も貴重。日本の暮らしをふりかえるきっかけになります。

[自然] 熱帯の植物が生い茂る森は、得たいの知れない生き物に遭遇しそうなワクワク感が溢れます。一方、道路沿いに広がるパームヤシの木々。教科書やテレビで観た環境問題が現実であると知るとともに、いつも自分は何ができるか考えさせられます。

海外キャンプは、子どもたちの豊かな感性に新たな刺激を与え、更に豊かなものへと変化させます。日常と全く異なる場所で、日本に住む自分とは違う、誰かの「暮らし」を体験し、違いや繋がりに気づくことでしょう。この気づきを持ち帰ることが、これからの未来を創る力になっていきます。

2019年3月。“今”しかできない体験を。

ボルネオ島キャンプでお待ちしています！



冒険の地はココ。

初日・最終日宿泊地
コタ・キナバル
ホームステイ地
コボジソン村

ボルネオ島

ぜひ動画を
みてください。



海外キャンプ動画



ボルネオ島固有種
テングザル (絶滅危惧種)

NPO 法人国際自然大学校
〒201-0004
東京都狛江市岩戸北4-17-11

< 第3回 >
2017年3月
開催分

ボルネオ島キャンプ

～ 報告書より ～

ディレクターより
(舘野/まるこ)



旅仲間とも、あっという間に仲良くなりました。



ホストファミリーと初対面。今日からよろしくお願ひします。



イモ虫料理



恒例?!の、イモ虫料理で歓迎されました。味は、甘えび??

episode 1

おやつは世界をつなぐ

おやつ交流パーティーを開催しました。日本からは、「わらびもち」、「白玉だんご」、「べっこうあめ」、「ぎょうざ皮せんべい」を紹介します。この4つは、出発前に子どもたちで決め、各自練習をしてきたメニューです。興味津々の現地の子どもたちに囲まれながら、練習の成果を発揮。そして、ちょっぴり緊張しながらも、完成させたおやつはあっという間に現地の人に囲まれ完売に。大人も子どももわれ先にと手を伸ばし、「おいしい!」と喜んで食べてくれました。そんな様子に圧倒されながらも、自分たちで決めて作ったものが、ここまで喜ばれたことに大きな達成感を感じたようです。また、「日本料理のおいさを紹介できたのが良かった!」と、日本を誇りに思う声もありました。日本の、プチ・アンバサダー体験、大成功でした。

お菓子



パバル村伝統の「バンブーダンス」村の子どもたちのダンスは圧巻です。



石を使った現地のゲーム。シンプルだけど、難しい!!



現地の小学校にて、英語の授業に参加。クロスワードやクイズにチャレンジ。



折り紙教室。全員、なんとか完成しました。



日本のおやつを紹介。完成後、10秒で完売!



「また来てね!」再会を願ってハグでお別れ。



パームヤシの収穫作業を見学。
仕事の大変さを間近で感じました。



野生動物保護のため、植林を行いました。
豊かな森になりますように！

4日目は、パームヤシを通して色々と考えさせられた1日でした。パームヤシの収穫作業をする労働者は、長時間低賃金で働いています。森では、原生林の減少により、野生動物も減少しています。一方、昼食のチキンはパームオイルで揚げられたもの。パームオイルで繋がる3つの関係。現状は決して人にも自然にも良い関係ではありません。その日の夜、みんながhappyになる暮らしをみんなと考えました。どんな未来を選択するかは子どもたち次第。その1歩の一日でした。

episode3

体験の続きは日常で

「日本のご飯が食べたい!」、「お風呂に入りたい」と、文化の違いから、キャンプ中は日本を恋しく思う言葉がたくさん聞こえました。7日間の体験を終えて帰国した直後、日本文化に感謝と安心感で心がいっぱいの様子でした。これでキャンプは終わりですが、この後の日常のふとした瞬間に、この体験が思い出されることでしょう。「ボルネオではどうだろう?」と。今回のキャンプで感じたことを心に刻みつつ、いつかボルネオ島を再訪する、そんな日が来てくれたらとても嬉しいです。



動物発見! ボートが傾くほど身を乗り出し観察していました。



熱帯雨林の植物は多種多様で、見るもの全てが新鮮です。



マーケット見学では、現地の食文化に触れました。



たこ焼き屋を発見。異国で出会った日本の味に安心。



マレーシアの本をゲット。日本で勉強です。

国際自然大学の

海外キャンプの特徴

1. 参加者は子どもだけ

小学4年(年度末実施は小3)～高校生までを対象としています。自らの力で「やりきる」ことで、そこで得た体験や学びは深くなり、自信にもつながります。

2. 現地人との関りを重視

交流を通して、それぞれの文化を理解・尊重する気持ちを育みます。共同生活を通して、自発性や語学への関心も高まります。

3. SDG'sへアクション

キャンプでは、本やネットで知れた情報を基に、現地での生活を通して、自らも課題に対してアクションが出来るよう、次の1歩を踏み出すきっかけを提供します。

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」という2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。「誰一人取り残さない-No one will be left behind」を理念とし、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17のゴールがとして設定されました。

参加者の感想



森にはたくさんの生き物が居るのに、その森を切ってアブラヤシを植えて生き物が住めない環境を作っていた。日本でもそのことは知っていたけど、実際に見てみると、自分が思っていた以上にプランテーションの面積が広くてショックだった。



ホームステイでは通訳できる人が居なくて、単語だけで英語をなんとか話したが、何とか通じて良かった!何事もやってみれば何とかなると実感した!



シャワーは水だったり、部屋に虫がいて日本の家のきれいさに感謝した。



海外キャンプ参加者の保護者の方より

- 中学校に入ると部活や行事で日程確保が難しいので、小学生時代にどんどん参加しておくことオススメです。
- 現地の生活体験のお陰で多少のことには動じなくなるほど、度胸と自信が身に付きました。
- 子どもだけの海外キャンプはハードルも高いですが、その分一生の宝物となる体験になりました。
- 英語は話せなくても、関心が湧いて、その後の座学にも影響がありました。
- 子どもを一步成長させるきっかけは…親が踏み出す勇気次第!





ボルネオ島キャンプ スケジュール

※行程は、現地の天候や航空便のスケジュールによって変更となる場合があります。ご了承ください。

日付	滞在都市	行程・プログラム	食事
1日目 3/25 (月)	成田発 コタキナバル着	朝 成田空港集合 / 午前 成田発 午後 マレーシア ボルネオ島コタキナバル 着 / ホテルにチェックイン・市内観光 <コタキナバル市内ホテル泊>	機内食・夕
2日目 3/26 (火)	コタキナバル コボジソン村	◎ホームステイスタート ホストファミリーと面会し、ボルネオ島での生活体験スタート。 村をまわり、村の生活を見学し村人にあいさつ。近くの海岸でサンセットウォークへ。 夕食は、ホストファミリーと一緒に現地の家庭料理をいただきます。 <コボジソン村ホームステイ>	朝・昼・夕
3日目 3/27 (水)	コボジソン村	◎現地の子どもたちと交流 地元小学校に訪問し、授業体験&日本の文化紹介 お菓子作りを通しての文化交流 地元の子どもたちと、サッカーなどのスポーツ交流 ◎村民・ホストファミリーとのローカルパーティー <コボジソン村ホームステイ>	朝・昼・夕
4日目 3/28 (木)	コボジソン村	◎リアル・ジャングルクルーズへ！ クリアス野生動物保護区へ。ボルネオ島の動植物に出会うリパークルージングへ出発！ ◎夜の生き物に出会う まばゆい幻想的な光に出会う、ボートからのホテル観賞。 <コボジソン村ホームステイ>	朝・昼・夕
5日目 3/29 (金)	コボジソン村 コタキナバル	◎ホームステイ最終日 3日間、お世話になったホストファミリー、村の人々々とお別れ。 ◎パームオイルの工場見学 働いている方と直接話しができる機会。ボルネオ島に限らず、世界の問題を探ってみよう。 <コタキナバル市内ホテル泊>	朝・昼・夕
6日目 3/30 (土)	コタキナバル	◎コタキナバル市内観光・おみやげタイム ボルネオ島、最後の1日。街探検や、ショッピングへ。ランチは、各自お店を決めて、好きなものを注文して食べよう。 ◎ふりかえり ボルネオ島キャンプの思い出や学びをふりかえります。 <コタキナバル市内ホテル泊>	朝
7日目 3/31 (日)	コタキナバル発 成田着	コタキナバル空港へ、マレーシア ボルネオ島コタキナバル発 (クアラルンプール乗り継ぎ) 夕方 成田着 / 解散	機内食

冒険には準備が大切！
事前説明会へ
ご参加ください。

- 第1回 2018年 11/18 (日) 10:30 ~ 12:00
- 第2回 2018年 12/ 8 (土) 14:30 ~ 16:00
- 第3回 2019年 1 /27 (日) 13:30 ~ 15:00

【会場】 第1回・3回 / 国立オリンピック記念青少年総合センター (渋谷区)
第2回 / 地球環境パートナーシッププラザ GEOC (渋谷区)
【対象】 ボルネオ島キャンプの予約を検討されている方、
当校の海外キャンプに興味がある方 など。
※まだ参加対象年齢ではないけれど興味がある・・・という方も、どうぞご参加ください。
【内容】 キャンプの紹介 (過去3回実施したボルネオ島キャンプの様子をご紹介します)
スタッフ紹介 (同行、旅行社、現地ガイド)、現地の生活紹介、
現地の自然やアクティビティ (見どころ) の紹介
【予約方法】 右記のページから詳細を確認し、ご予約ください。

【日程】 2019年 3/25 (月) ~ 31 (日) 7日間
【行先】 マレーシア ボルネオ島 (コタキナバル、コボジソン村)
【対象】 小3 ~ 高校生 【定員】 20名 (最少催行10名)
【航空会社】 マレーシア航空 (エコノミークラス)
【宿泊】 コタキナバル・シャングリラホテル
コボジソン村・ホームステイ
【旅行代金】 調整中 (2018年10月確定予定)

<旅行代金に含まれるもの> 航空運賃 (燃料サーチャージ・空港税含)・宿泊料金
体験プログラム料金・食事 (朝5回、昼4回、夜5回 機内食は除く)・観光料金
現地利用交通機関の料金 (バス・送迎車)・手荷物料金
※この告知では、ボルネオ島キャンプのお申込みを受け付けておりません。
詳しい旅行条件を記載した書類をご用意しています。

【申込最終締切り】 2019年 1/28 (月)
●お申込みの方対象 / 事前オリエンテーション●
【日程】 3/3 (日) 13:30 ~
【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター

<内容>
顔合わせ、持ち物確認
文化紹介の話し合い等



事前説明会へのご参加
お待ちしております



海外キャンプの
企画は・・・

エコツアーに特化した旅行会社リボンと、
自然体験活動を行う国際自然大学のコラボ企画です。



有限会社 リボン
《エコツアー 19年》



NPO 法人 国際自然大学校
《自然体験活動 35年》

エコツアーに特化した旅行会社リボンと、自然体験活動を行う国際自然大学のコラボ企画です。
今回のボルネオ島キャンプは、リボンが実施しているツアーを、国際自然大学の会員 (子ども) 向けに
アレンジしたものです。(リボンでは大人・大学生向けに実施しています。)
地元でのコミュニケーションを大切に、参加者一人一人が主人公である体験エコツアーを提供していきます。

【旅行企画・実施】

株式会社 旅倶楽部
観光庁長官登録旅行業第 1-2043 号
埼玉県川口市本町 3-4-3

【受託販売・現地プログラム企画】

有限会社リボン<エコツーリズム・ネットワーク>
埼玉県知事登録旅行業第 2-1198 号
埼玉県さいたま市見沼区深作 3-36-19
総合旅行業務取扱管理者：壹岐 健一郎

【運営協力】

NPO 法人国際自然大学校

